手動のアップグレード前の検証

-
- 概要 （1 ページ）
- クラスタのストレージ容量の確認 （1 ページ）

概要

この項では、アップグレード前の Intersight 正常性チェック で説明されている Hypercheck 正常性チェックを実行できない場合のアップグレード前の手動検証について説明します。これらのチェックを手動で実行するよりも、Hypercheck を実行することを強く推奨します。

クラスタのストレージ容量の確認

シスコは、Cisco HX データ プラットフォームの既存のインストールのアップグレードを開始する前に、クラスタ ストレージ容量をチェックすることをお勧めします。クラスタ内のストレージ使用率が 70% を超える場合、アップグレードの検証は失敗します。

クラスタ内のストレージ使用率が 70% を超える場合は、オフライン アップグレードが推奨されます。

クラスタ ストレージ容量をチェックすることの背景の詳細については、『*Cisco HyperFlex* データ プラットフォーム管理ガイド』の HX ストレージ クラスタの概要」の章を参照してください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。